

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
1-(1)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉課(指導)	1-1	グループホーム等の定員 (グループホーム、生活ホーム、ふれあいホームの定員)	人	3,462	3,878	設定なし	設定なし	4,680	4,178	－	・共同生活住居の数が43増と、対前年度比で7%の増加となっている。
1-(1)		(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉課(指導)	1-2	施設入所者の地域生活への移行者数	人	130	104	200	200	200	75	D	・調査の結果、対前年度比28%の減となっています。今後も、地域生活への移行が可能な方に対して支援を行っていく必要がある。
1-(1)		(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉課(指導)	1-3	施設入所者数	人	4,566	4,518	設定なし	設定なし	4,530	4,497	－	・調査の結果、前年度から21人減っている。
1-(2)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(2)日中活動の場の充実	障害福祉課(計画・指導・整備)	1-4	地域生活支援拠点等の整備	箇所	なし	なし	設定なし	設定なし	16	0	－	・平成28年度整備予定は1市、検討中は8市(千葉市、船橋市、柏市を除く)である。
1-(2)		(2)日中活動の場の充実	障害福祉課(地域)	1-5	地域活動支援センター所在市町村	市町村	35	35	設定なし	設定なし	54	33	－	・県地域活動支援センター支援事業補助金の活用等を促し、実施を促進して参りたい。
1-(3)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(3)地域生活を推進するための在宅サービスの充実	健康福祉指導課	1-6	日常生活自立支援事業利用者数	人	728	884	880	960	1,040	1,059	A	・平成27年度から全市町村社会福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。
1-(4)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉課(県立)	1-7	強度行動障害のある人を支援している施設等の数	箇所	39	39	設定なし	設定なし	43	39	－	・26年10月の調査では39施設305人であったが、28年10月では39施設326人となっており、施設数は増えていないが、利用者数は21人の増となっている。
1-(4)		(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉課(県立)	1-8	「強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業」受講者数(累計)	人	0	16	32	48	64	32	A	・計画に沿って着実に研修を実施している。
1-(4)		(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉課(療育)	1-9	重症心身障害児者対応可能な通所施設設置箇所数	箇所	33	39	34	34	34	35	A	・重症心身障害児者対応可能な通所施設の指定が1件あり、目標以上の実施箇所数の維持を達成した。
1-(5)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用	障害福祉課(指導)	1-10	指定障害者支援施設の必要定員総数	人	4,737	4,716	設定なし	設定なし	4,700	4,673	－	・調査の結果、前年度から43人減っている。
1-(5)		(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用	障害福祉課(計画・指導・整備)	1-11	地域生活支援拠点等の整備(再掲)	箇所	なし	なし	設定なし	設定なし	16	0	－	・平成28年度整備予定は1市、検討中は8市(千葉市、船橋市、柏市を除く)である。
1-(6)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(6)県立施設のあり方	障害福祉課(県立)	1-12	千葉県袖ヶ浦福祉センターの必要入所定員総数	人	170	170	設定なし	設定なし	90※	150	－	・養育園利用者の移行は概ね順調に進んでいるが、更生園利用者の移行は、移行を希望していない保護者も多いことから、引き続き情報提供に努めたい。
2-(1)	2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進	(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援	障害福祉課(精神)	2-1	精神科病院に入院した患者の入院後3か月経過時点の退院率(%)	%	56.9 (H24.6)	60.1 (H25.6)	59	61	64	56.5 (H26.6)	B	・詳細な分析が必要
2-(1)		(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援	障害福祉課(精神)	2-2	精神科病院に入院した患者の入院後1年時点の退院率(%)	%	87.3 (H24.6)	87.4 (H25.6)	88	89	91	85.1 (H26.6)	B	・詳細な分析が必要
2-(1)		(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援	障害福祉課(精神)	2-3	精神科病院の長期在院者(1年以上在院者)の数	人	7,857 (H24.6)	7,767 (H25.6)	7,302	6,802	6,442	7,010 (H26.6)	A	・詳細な分析が必要
2-(1)		(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援	障害福祉課(精神)	2-4	遠隔地退院支援者数の実数	人	なし	10	8	15	23	3	D	・事業の定着度が低く、検討が必要。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
2-(1)		(1)精神障害のある人の地域生活への移行支援	障害福祉課(精神)	2-5	地域移行・定着協力病院の指定数	箇所	なし	0	15	18	26	0	E	・要綱の制定が年度末であったため、認定が出来なかった。
2-(2)	2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進	(2)障害のある人自身が自らの経験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進	障害福祉課(精神)	2-6	地域移行・地域生活支援事業の実ピアサポーター活動箇所数(見込箇所数)	箇所	なし	6	6	7	8	7	A	・多くの圏域で実施するため、圏域毎の実施内容について等情報交換を行った。
2-(3)	2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進	(3)精神科救急医療体制の充実	障害福祉課(通報)	2-7	精神科救急基幹病院数	箇所	9	9	11	11	11	9	B	・東葛北部及び安房圏域に基幹病院がないため、今後も精神科救急医療圏域ごとの基幹病院の設置を目指す。
2-(3)		(3)精神科救急医療体制の充実	障害福祉課(通報)	2-8	精神科救急身体合併症に対応できる施設数	箇所	4	4	9	9	9	9	A	・精神科救急医療システムの要綱の中に身体合併症に対応できる施設を「協力病院」として規定し、今後は登録を行っていく。
3-(1)	3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	(1)障害のある人への理解の促進	障害福祉課(権利)	3-1	障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例を知っている県民の割合(%)	%	18.3	-	23.0	25.0	28.0	27.7	A	・目標値を上回る達成度となっている。
3-(2)	3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	(2)地域における権利擁護体制の構築	障害福祉課(権利)	3-2	虐待防止アドバイザー派遣数	人	6	13	8	10	13	11	A	・目標値を上回る達成度となっている。
3-(3)	3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	3-3	千葉県相談支援アドバイザー配置数	人	32	33	32	32	32	32	A	・目標の配置数を確保した。
3-(3)		(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(権利)	3-4	障害者条例に係る相談件数のうち地域相談員が関わった件数の割合(%)	%	15.5	19.9	33	35	38	15.2	D	・地域相談員との連携については、目標に達することができず、引き続き課題となっているため、相談対応や広報活動における地域相談員との連携とその活用を図る。
3-(4)	3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-5	手話通訳者・要約筆記者養成研修事業の実養成講習終了見込者数	人	98	66	80	100	60	50	C	・受講者が定員に満たずH27年度実績が目標値を大きく下回った。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-5a	手話通訳	人	44	38	40	40	40	28	C	・長期に渡る養成課程のため、最終課程までに至らず、最終課程の受講者が定員に満たないことが要因と思われるため、今後は講座数を増やす等により最終課程の受講者を増やすことを検討する。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-5b	要約筆記	人	-	-	-	20	20	-	-	・要約筆記者養成研修は平成28年度からの実施となる。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-5c	要約筆記移行研修	人	54	28	40	40	0	22	D	・対象者が減ったことが要因と思われ、受講者が定員に満たずH27年度実績が目標値を大きく下回った。今後は要約筆記者養成研修で目標値を達成できるよう、補講等を実施し、当初の受講生がきちんと修了できるようにしていくこととしたい。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-6	盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業の実養成講習終了見込者数	人	13	20	16	16	16	17	A	・H27年度実績が目標値を上回る事が出来た。今後も引き続き養成事業に取り組んでいきたい。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-7	手話通訳者・要約筆記者派遣事業の実利用見込み件数	件	396	452	375	375	375	495	A	・H27年度実績が目標値を上回る事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-7a	手話通訳	件	271	312	236	236	236	319	A	・H27年度実績が目標値を上回る事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-7b	要約筆記	件	125	140	139	139	139	176	A	・H27年度実績が目標値を上回る事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-8	盲ろう者向け通訳・介助派遣事業の実利用見込み件数	件	1,062	1,237	1,066	1,066	1,066	1,416	A	・H27年度実績が目標値を上回る事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-9-(1)	点訳・朗読奉仕員の養成(養成人数)	人	46	38	46	46	46	47	A	・点訳奉仕員24名、音訳奉仕員23名で計47名の奉仕員を養成し、目標をわずかに上回る結果となった。
3-(4)		(4)手話通訳等の人材育成	障害福祉課(障害)	3-9-(2)	点訳・朗読奉仕員の養成(研修回数)	回	2	2	2	2	2	2	A	・点訳、音訳それぞれ1回の研修を実施し、目標を達成した。なお、研修の時間数は、点訳が48時間、音訳が40時間であった。
4-(1)	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-1	児童発達支援センター箇所数	箇所	28	30	33	35	37	34	A	・平成27年度に4事業所の新規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
4-(1)		(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-2	児童発達支援事業箇所数	箇所	121	153	161	179	198	232	A	・平成27年度に79事業所の新規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
4-(1)		(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-3	放課後等デイサービス事業所箇所数	箇所	199	282	305	338	378	387	A	・平成27年度に105事業所の新規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
4-(1)		(1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-4	ライフサポートファイルの実施市町村数	市町村	29	30	34	44	54	35	A	・平成27年度に1町がライフサポートファイルを実施し、目標以上の事業者数を達成した。
4-(2)	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	(2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	障害福祉課(療育)	4-5	短期入所施設数(障害のある子どもを受け入れる施設)	箇所	78	79	82	84	86	84	A	・平成27年度に5事業所の新規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
4-(2)		(2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	障害福祉課(地域)	4-6	居宅介護事業所数(障害のある子どもを受け入れる事業所)	箇所	662	700	762	812	862	737	B	・概ね順調に増加しているが、目標の事業所数には到達しなかった。
4-(3)	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-7-(1)	障害児等療育支援事業(実施見込み箇所数)	箇所	77	65	65	65	65	55	B	・事業所への委託条件を厳しく設定したため、目標の事業所数に到達しなかった。
4-(3)		(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-7-(2)	障害児等療育支援事業(相談見込み件数)	件	29,806	28,212	31,500	32,000	32,500	26,711	B	・事業所への委託に際し一定の利用条件を設けたため、目標相談件数に到達しなかった。
4-(3)		(3)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(療育)	4-8	療育支援コーディネーターの配置人数	人	6	6	増加に努めます	増加に努めます	増加に努めます	6	A	・療育支援コーディネーターが未配置圏域の市町村から設置の要望がなかったため、現状どおり。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
4-(4)	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	(4)障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実	(教)特別支援教育課	4-9	小・中学校等における特別支援教育に関する個別教育支援計画作成率(%)	%	62.7	64.8	72.0	76.0	80.0	67.2	B	・目標と実績の比較が4. 8%であり、未達成となった。個別的教育支援計画の作成について、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じるために必要との認識は、各学校・教員に理解されてきているところであるが、児童生徒の実態把握及び医療・福祉等との連携の難しさから、作成率が目標値を下回ったものと考えられる。
4-(4)		(4)障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実	(教)特別支援教育課	4-10	特別支援教育に関する教員研修受講率(%)	%	76.4	81.1	85.0	90.0	90.0	84.5	B	・総合教育センターとの連携を通して、研修の充実に努めてきた成果により、3. 4%の向上を図ることができた。
4-(5)	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実	(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実	障害福祉課(療育)	4-11	福祉型障害児入所施設入所定員	人	288	288	288	288	288	288	A	・福祉型障害児入所施設については、当面、現目標値の維持が予想される。
4-(5)		(5)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実	障害福祉課(療育)	4-12	医療型障害児入所施設入所定員	人	492	525	562	562	562	567	A	・平成27年度に1事業所の新規指定申請があり、目標以上の定員数を達成した。
5-(1)	5 障害のある人の相談支援体制の充実	(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-1	計画相談支援従事者数	人	555	812	950	975	1,000	893	B	・目標には届かなかったが概ね順調に増加している。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-2	特定相談支援事業所所在市町村数	市町村	43	46	設定なし	設定なし	54	46	－	・引き続き市町村への周知に努める。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-3	一般相談支援事業所所在市町村数	市町村	36	37	設定なし	設定なし	54	36	－	・引き続き市町村への周知に努める。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-4-(1)	千葉県相談支援アドバイザー派遣事業(アドバイザー配置数(再掲))	人	32	33	32	32	32	32	A	・目標の配置数を確保した。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-4-(2)	千葉県相談支援アドバイザー派遣事業(アドバイザー派遣件数)	件	18	8	30	30	30	6	E	・目標を大幅に下回ったことから、市町村会議等で周知することにより利用促進を図る。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-5	基幹相談支援センター設置市町村数	市町村	14	15	設定なし	設定なし	44	16	－	・引き続き市町村への周知に努める。
5-(1)		(1)地域における相談支援体制の充実	障害福祉課(地域)	5-6	発達障害者支援センター相談件数(地域相談支援機関での相談を含む)	件	2,752	2,594	設定なし	設定なし	3,500	6,525	－	・前年度より相談支援件数が増加した。今後も地域の相談支援機関の対応可能数の増加を目指す。※27年度は地域相談支援機関での対応件数を含む。
5-(2)	5 障害のある人の相談支援体制の充実	(2)地域における相談支援従事者研修の充実	障害福祉課(地域)	5-7	計画相談支援従事者数(再掲)	人	555	812	950	975	1,000	893	B	・目標には届かなかったが概ね順調に増加している。
5-(2)		(2)地域における相談支援従事者研修の充実	障害福祉課(地域)	5-8	相談支援専門員の養成数	人	629	567	600	600	600	516	B	・概ね受講者数を確保することができた。今後、研修の周知方法等を検討し、さらに受講者数の確保に努める。
5-(2)		(2)地域における相談支援従事者研修の充実	障害福祉課(地域)	5-9-(1)	相談支援専門コース別研修事業(受講者数)	人	767	390	720	720	720	298	D	・事業予算の削減に伴い目標の受講者数を達成することができなかったため、今後の研修の実施方法等を検討する。
5-(2)		(2)地域における相談支援従事者研修の充実	障害福祉課(地域)	5-9-(2)	相談支援専門コース別研修事業(研修開催回数)	回	9	8	9	9	9	6	C	・事業予算の削減に伴い目標の開催回数を達成することができなかったため、今後の研修の実施方法等を検討する。
5-(3)	5 障害のある人の相談支援体制の充実	(3)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化	障害福祉課(地域)	5-10	医療的ケアの必要な子ども等への相談支援研修の受講者数	人	なし	86	80	80	80	67	B	・概ね受講者数を確保することができた。今後、研修の周知方法等を検討し、さらに受講者数の確保に努める。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
6-(1)	6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	(1)就労支援・定着支援の体制強化	障害福祉課(指導)	6-1	福祉施設利用者の一般就労への移行者数	人	570	701	820	940	1,060	832	A	・調査の結果、対前年度比で19%増加し、計画値(目標)を達成する。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	障害福祉課(指導)	6-2	就労移行支援事業の利用者数	人	2,397	2,358	3,000	3,400	3,840	3,098	A	・事業所数が17増加したことから、利用者においても、対前年度比で31%増加し、計画値(目標)を達成する。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	障害福祉課(指導)	6-3	就労移行率が30%以上の就労移行支援事業者数(全体に占める割合)(%)	%	29	29	35	40	50	40	A	・調査の結果、対前年度比で38%増加し、計画値(目標)を達成する。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	障害福祉課(指導)	6-4	就労移行支援事業及び就労継続支援事業の利用者の一般就労への移行者数	人	566	693	810	930	1,050	828	A	・調査の結果、対前年度比で19%増加し、計画値(目標)を達成する。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-5	公共職業安定所におけるチーム支援による福祉施設利用者の支援件数	件	163	185	190	200	210	223	A	・公共職業安定所ごとにバラつきがみられたが、福祉施設利用者の支援件数は目標に対し17.4%増の実績となった。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-6	障害者高等技術専門校の就職率(%)	%	79.3	85.4	80	80	80	88	A	・コースによるバラつきはみられたが、全体としては目標を上回った。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-7	委託訓練事業の受講者数	人	237	202	250	260	270	213	B	・PC技能習得コース等6コースで213人が受講した
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-8	障害者トライアル雇用事業の開始者数	人	93	125	120	130	140	152	A	・障害者トライアルの活用は目標に対し26.7%増の実績となった。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-9	職場適応援助者による支援の対象者数	人	75	58	90	100	110	88	B	・今後もハローワークと障害者職業センターとの連携強化が必要である。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-10	従業員50人以上規模の企業で雇用される障害のある人の数	人	8,194	8,584	9,730	10,600	11,550	8,882	B	・調査の結果、前年度未達成企業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で3.5%増加したが、計画値には至らなかった。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	産業人材課	6-11	従業員50人以上規模の企業で雇用される精神障害のある人の数	人	482	606	790	1,010	1,293	741.5	B	・調査の結果、前年度未達成企業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で22.4%増加したが、計画値には至らなかった。
6-(1)		(1)就労支援・定着支援の体制強化	千葉労働局	6-12	障害者雇用率を達成した公的機関の割合(%)	%	80	86.8	100	100	100	86.8	B	・未達成機関の訪問・呼出し、関係機関への要請等を行ったが、計画値には至らなかった。
6-(2)	6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	(2)障害者就業・生活支援センターの運営強化	障害福祉課(指導)	6-13	障害者就業・生活支援センター事業の支援対象者数	人	6,059	6,910	7,060	7,630	8,240	8,047	A	・引き続き、就業支援や生活支援を必要とする支援対象者に対して、就労面及び生活面の一体的な支援等を行う。
6-(2)		(2)障害者就業・生活支援センターの運営強化	障害福祉課(指導)	6-14	障害者就業・生活支援センター事業の実施見込み箇所数	箇所	15	16	16	16	16	16	A	・県内の障害保健福祉圏域ごとに設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)において、各1名以上ずつ生活支援員を配置した。
6-(3)	6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	(3)障害のある人を雇用する企業等への支援	産業人材課	6-15	企業支援員の配置人数	人	8	16	16	16	16	16	A	・県内の障害保健福祉圏域ごとに設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)において、各1名ずつ企業支援員を配置した。
6-(3)		(3)障害のある人を雇用する企業等への支援	産業人材課	6-16	フレンドリーオフィスの新規認定数	件	11	8	15	15	15	11	C	・平成27年7月に6事業所、平成28年2月に5事業所、計11事業所を認定した。
6-(3)		(3)障害のある人を雇用する企業等への支援	産業人材課	6-17	従業員50人以上規模の企業で雇用される障害のある人の数(再掲)	人	8,194	8,584	9,730	10,600	11,550	8,882	B	・調査の結果、前年度未達成企業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で3.5%増加したが、計画値には至らなかった。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
6-(3)		(3)障害のある人を雇用する企業等への支援	産業人材課	6-18	従業員50人以上規模の企業で雇用される精神障害のある人の数(再掲)	人	482	606	790	1,010	1,293	741.5	B	・調査の結果、前年度未達成企業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で22.4%増加したが、計画値には至らなかった。
6-(4)	6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	(4)支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化	障害福祉課(指導)	6-19	ネットワーク構築のための会議を開催した圏域数	圏域	15	16	16	16	16	16	A	・県内の障害保健福祉圏域ごとに設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)が地域意見交換会等の取組を実施した。
6-(5)	6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	(5)福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の賃金(工賃)向上への取組の推進	障害福祉課(指導)	6-20	就労継続支援B型の平均工賃月額	円	12,596	13,150	14,000	15,000	16,000	13,660	B	・平成25年度から2年連続平均工賃が向上し、対前年比で510円増となったが、目標額には至らなかった。
6-(5)		(5)福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の賃金(工賃)向上への取組の推進	障害福祉課(指導)	6-21	県内官公需実績(県及び市町村)(千円)	円	107,815	110,921	110,000	120,000	130,000	137,841	A	・平成26年度と比較して、発注件数は131件増、発注金額は19,602,060円増。発注金額増額分のうち約33%を松戸市が占めている。
6-(5)		(5)福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の賃金(工賃)向上への取組の推進	障害福祉課(指導)	6-22	官公需拡大のための商談会(県後援)への参加行政機関数(所属部署単位)	部署	32	95	50	80	100	37	C	・庁内において2回、市町村において1回周知したが、目標値に至らなかった。
7-(2)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域)	7-1-(1)	発達障害者支援センター運営事業(研修等受講者数)	人	5,977	7,907	9,000	9,000	9,000	8,314	B	・昨年度より受講者数が増え、目標値に近づいた。今後も受講者増を目指す。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域)	7-1-(2)	発達障害者支援センター運営事業(相談件数(地域相談支援機関での対応を含む)(再掲))	件	2,752	2,594	設定なし	設定なし	3,500	6,525	-	・前年度より相談支援件数が増加した。今後も地域の相談支援機関の対応可能数の増加を目指す。※27年度は地域相談支援機関での対応件数を含む。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(精神)	7-2	高次脳支援拠点機関数	箇所	3	3	3	3	3	3	A	・県内3箇所(中央、北西部、南部)に支援拠点機関を設置。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(精神)	7-3	高次脳機能障害相談件数	件	9,244	16,762	9,300	9,300	9,300	19,797	A	・上記3機関で、相談に対応。他に、研修や啓発等の活動もしており、件数が増加している。
7-(3)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(3)通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(療育)	7-4	短期入所事業者数	箇所	134	138	137	140	143	144	A	・平成27年度に6事業所の新規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
7-(4)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	7-5	ひきこもりサポーター養成者数	人	なし	33	50	75	100	40	B	・平成27年度は新規7名が受講。前年度までと併せて40名となった。市町村の協力を得ながら登録者を増やすことが今後の課題。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	7-6	ひきこもり地域支援センターの相談見込み件数	件	483	904	800	900	1,000	1,187	A	・毎月100件前後の相談を受理。本人からが80%。ひきこもり本人は男性が80%。20代が55%。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	7-7	ライトハウスちばの相談件数(ひきこもりに関するものに限る。)	件	297	517	600	700	800	220	D	・件数減少の理由:次につなげるための実質的な相談対応を主とし、傾聴のみの相談を整理したため。結果、新規相談は増加した。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	7-8	アウトリーチ型の訪問件数	件	15	19	50	100	200	10	E	・本人及び家族との日程調整がうまくいかずキャンセルが重なり、件数が伸びなかった。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
8-(1)	8 その他各視点から 取り組むべき事項	(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-1-(1)	重度訪問介護従事者の養成(強度行動 障害を除く)(養成人数)	人	22	19	40	40	40	16	D	・重度訪問介護従業者養成研修基礎・追加 課程:2名修了 ・重度訪問介護従業者養成研修統合課程: 14名修了
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-1-(2)	重度訪問介護従事者の養成(強度行動 障害を除く)(研修回数)	回	7	7	4	4	4	6	A	・重度訪問介護従業者養成研修基礎・追加 課程:1回開催 ・重度訪問介護従業者養成研修統合課程: 5回開催
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-2-(1)	同行援護従事者の養成(養成人数)	人	967	880	500	500	500	432	B	・同行援護従業者養成研修一般課程:298 人修了 ・同行援護従業者養成研修応用課程:134 名修了
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-2-(2)	同行援護従事者の養成(研修回数)	回	44	42	25	25	25	31	A	・同行援護従業者養成研修一般課程:20 回開催 ・同行援護従業者養成研修応用課程:11 回開催
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-3-(1)	強度行動障害支援者の養成(養成人数)	人	なし	77	240	240	240	337	A	・強度行動障害支援者養成研修(基礎研 修):214名修了 ・強度行動障害支援者養成研修(実践研 修):123名修了
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-3-(2)	強度行動障害支援者の養成(研修回数)	回	なし	1	2	2	2	5	A	・強度行動障害支援者養成研修(基礎研 修):3回開催 ・強度行動障害支援者養成研修(実践研 修):2回開催
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-4-(1)	ガイドヘルパーの養成(養成人数)	人	296	267	500	500	500	256	D	・移動介護従業者養成研修(視覚):94名 修了 ・移動介護従業者養成研修(全身性):43 名修了 ・移動介護従業者養成研修(知的):119名 修了
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-4-(2)	ガイドヘルパーの養成(研修回数)	回	20	17	25	25	25	18	C	・移動介護従業者養成研修(視覚):6回開 催 ・移動介護従業者養成研修(全身性):4回 開催 ・移動介護従業者養成研修(知的):8回開 催
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-5-(1)	サービス管理責任者の養成(養成人数)	人	664	660	550	550	550	659	A	・目標値を上回る養成数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害福祉課(地域)	8-5-(2)	サービス管理責任者の養成(研修回数)	回	1	1	1	1	1	1	A	・目標の1回を実施した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(1)	医師及び看護師の確保定着(医師修学 資金の貸付を受けた医師数)	人	1	4	増加を目 指します	増加を目 指します	増加を目 指します	13	A	・平成27年度に医師修学資金の貸付を受 けた医師数が9人増加し、合計13人となっ た。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(2)	医師及び看護師の確保定着(養成所卒 業生の県内就業率(%))	%	66.2	67.7	増加を目 指します	増加を目 指します	増加を目 指します	67.3	B	・大学や3年課程の県内就業率は増加した が、2年課程や准看護師が減少した。

(評価)
A・・・・・・・目標値の100%以上の達成率
B・・・目標値の80%以上100%未満の達成率
C・・・目標値の60%以上80%未満の達成率
D・・・目標値の30%以上60%未満の達成率
E・・・・・・・目標値の30%未満の達成率
－(その他)・・・調査中及び達成率による評価ができないもの等

第五次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	27年度 (実績)	評価	成果の状況等(コメント)
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(3)	医師及び看護師の確保定着(看護職員の離職率(%))	%	12.4	12.8	低下を目指します	低下を目指します	低下を目指します	11.9	A	・「27年度」の11.9%は平成26年度の離職率。同様に26年度、25年度もそれぞれ平成25年度、平成24年度の率。(日本看護協会発表)
8-(1)		(1)人材の育成と確保	健康福祉指導課	8-7	福祉・介護人材確保対策事業の事業数	件	139	150	200	200	200	134	C	・平成30年度から市町村事業に移行する予定であり、数値目標を見直す必要がある。
8-(3)	8 その他各視点から取り組むべき事項	(3)保健と医療に関する支援	障害福祉課(指導)	8-8	ビーバー号による障害者支援施設及び障害児入所施設での歯科検診実施率(%)	%	9.1	14.8	10	11	12	12.5	A	・障害者支援施設及び障害児入所施設においては、歯科受診が特に困難であるので、引き続き実施率の向上に努める。
8-(4)	8 その他各視点から取り組むべき事項	(4)スポーツと文化活動に対する支援	障害福祉課(地域)	8-9	障害者スポーツ指導員の養成者数	人	57	48	50	50	50	41	B	・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認の初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(4日間)を実施し、41名の指導者を養成した。
8-(5)	8 その他各視点から取り組むべき事項	(5)住まいとまちづくりに関する支援	公園緑地課	8-10-(1)	障害者駐車場が整備されている県立公園(公園数)	箇所	11	12	13	13	14	13	A	・新規の駐車場整備に併せて、障害者駐車場を整備しており、平成27年度については1公園整備した。(公園数は整備済み公園数)
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	公園緑地課	8-10-(2)	障害者駐車場が整備されている県立公園(整備率(%))	%	79	86	93	93	100	93	A	・駐車場のある14の県立公園に対して13公園で整備されている。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	公園緑地課	8-11-(1)	多機能トイレが整備されている県立公園(公園数)	箇所	10	10	11	11	12	10	B	・今年度は、目標である1公園の多機能トイレを含めたトイレ建築工事を実施したが、平成28年4月1日から供用開始することとなったため、1公園分は平成28年度に成果を含めたい。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	公園緑地課	8-11-(2)	多機能トイレが整備されている県立公園(整備率(%))	%	67	67	73	73	80	67	B	・15の県立公園に対して10公園で整備されている。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	交通計画課	8-12	主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率(%)	%	90.3	92.2	92	93	94	93.5	A	・2駅3基(2市)のエレベーターに対し補助を行った。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	交通計画課	8-13	乗合バス車両のノンステップバスの導入率(%)	%	44.5	51.3	50.5	53.5	56.5	54.7	A	・ノンステップバス46台(8事業者)リフト付きバス1台(1事業者)に対し補助を行った。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに関する支援	住宅課	8-14	県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数	戸	4,220	4,296	4,401	4,508	4,611	4,401	A	・計画通り、バリアフリー化された県営住宅を整備した。
8-(6)	8 その他各視点から取り組むべき事項	(6)暮らしの安全・安心に関する支援	防災政策課	8-15	避難行動要支援者名簿に基づく個別計画策定着手市町村数	市町村	なし	14	28	42	54	28	A	・目標の28自治体が着手した。(作成済7自治体含む)
8-(6)		(6)暮らしの安全・安心に関する支援	障害福祉課(精神)	8-16	災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備運営(検討)委員会の開催見込み数	回	なし	3	2	1	1	2	A	・6月、11月と2回体制整備検討会議をした。
8-(6)		(6)暮らしの安全・安心に関する支援	健康福祉指導課	8-17	日常生活自立支援事業利用者数(再掲)	人	728	884	880	960	1,040	1,059	A	・平成27年度から全市町村社会福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。

No.	施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標	数値目標	単位	25年度(26年度)	26年度(27年度)	27年度(28年度)	28年度(29年度)	29年度(27年度)	27年度(27年度)	達成率	評価正	評価元	チェック	成果の状況等(コメント)
1	1-(1)	1 入所施	(1)グループ	障害福祉	1-1	グループ	人	3462	3878	設定なし	設定なし	4680	4,159(速報)	4159	#VALUE!	-	正	・共同生活住居の数が55増と、
2	1-(1)	1 入所施	(1)グループ	障害福祉	1-2	施設入所	人	130	104	200	200	200	75	75	37.5	D	正	・調査の結果、対前年度比28%
3	1-(1)	1 入所施	(1)グループ	障害福祉	1-3	施設入所	人	4566	4518	設定なし	設定なし	4530	4497	4497	#VALUE!	-	正	・調査の結果、前年度から21人
4	1-(2)	1 入所施	(2)日中活	障害福祉	1-4	地域生活	箇所	なし	なし	設定なし	設定なし	16	0	0	#VALUE!	-	正	・平成28年度整備予定は1市、
5	1-(2)	1 入所施	(2)日中活	障害福祉	1-5	地域活動	市町村	35	35	設定なし	設定なし	54	33	33	#VALUE!	-	正	・県地域活動支援センター支援
6	1-(3)	1 入所施	(3)地域生	健康福祉	1-6	日常生活	人	728	884	880	960	1040	1059	1059	120.3	A	正	・平成27年度から全市町村社会
7	1-(4)	1 入所施	(4)重度・	障害福祉	1-7	強度行動	箇所	39	39	設定なし	設定なし	43	39	39	#VALUE!	-	正	・28年12月に調査を実施する
8	1-(4)	1 入所施	(4)重度・	障害福祉	1-8	「強度行	人	0	16	32	48	64	32	32	100.0	A	正	・計画に沿って着実に研修を実
9	1-(4)	1 入所施	(4)重度・	障害福祉	1-9	重症心身	箇所	33	39	34	34	34	35	35	102.9	A	正	・重症心身障害児者対応可能な
10	1-(5)	1 入所施	(5)入所施	障害福祉	1-10	指定障害	人	4737	4716	設定なし	設定なし	4700	4673	4673	#VALUE!	-	正	・調査の結果、前年度から43人
11	1-(5)	1 入所施	(5)入所施	障害福祉	1-11	地域生活	箇所	なし	なし	設定なし	設定なし	16	0	0	#VALUE!	-	正	・平成28年度整備予定は1市、
12	1-(6)	1 入所施	(6)県立施	障害福祉	1-12	千葉県袖	人	170	170	設定なし	設定なし	90※	150	150	#VALUE!	-	正	・養育園利用者の移行は概ね順
13	2-(1)	2 精神障	(1)精神障	障害福祉	2-1	精神科病	%	56.9(H24.6)	60.1(H25.6)	59	61	64	56.5(H26.6)	56.5	95.8	B	正	・詳細な分析が必要
14	2-(1)	2 精神障	(1)精神障	障害福祉	2-2	精神科病	%	87.3(H24.6)	87.4(H25.6)	88	89	91	85.1(H26.6)	85.1	96.7	B	正	・詳細な分析が必要
15	2-(1)	2 精神障	(1)精神障	障害福祉	2-3	精神科病	人	7,857(H24.6)	7,767(H25.6)	7302	6802	6442	7,010(H26.6)	7,010	96.0	A	誤	・詳細な分析が必要
16	2-(1)	2 精神障	(1)精神障	障害福祉	2-4	遠隔地退	人	なし	10	8	15	23	3	3	37.5	D	正	・事業の定着度が低く、検討が必
17	2-(1)	2 精神障	(1)精神障	障害福祉	2-5	地域移行	箇所	なし	0	15	18	26	0	0	0.0	E	正	・要綱の制定が年度末であった
18	2-(2)	2 精神障	(2)障害の	障害福祉	2-6	地域移行	箇所	なし	6	6	7	8	7	7	116.7	A	正	・多くの圏域で実施するため、圏
19	2-(3)	2 精神障	(3)精神科	障害福祉	2-7	精神科救	箇所	9	9	11	11	11	9	9	81.8	B	正	・東葛北部及び安房圏域に基幹
20	2-(3)	2 精神障	(3)精神科	障害福祉	2-8	精神科救	箇所	4	4	9	9	9	9	9	100.0	A	正	・精神科救急医療システムの要
21	3-(1)	3 障害の	(1)障害の	障害福祉	3-1	障害のあ	%	18.3	-	23	25	28	27.7	27.7	120.4	A	正	・目標値を上回る達成度となっ
22	3-(2)	3 障害の	(2)地域に	障害福祉	3-2	虐待防止	人	6	13	8	10	13	11	11	137.5	A	正	・目標値を上回る達成度となっ
23	3-(3)	3 障害の	(3)地域に	障害福祉	3-3	千葉県相	人	32	33	32	32	32	32	32	100.0	A	正	・目標の配置数を確保した。
24	3-(3)	3 障害の	(3)地域に	障害福祉	3-4	障害者条	%	15.5	19.9	33	35	38	15.2	15.2	46.1	D	正	・地域相談員との連携について
25	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-5	手話通訳	人	98	66	80	100	60	50	50	62.5	C	正	・受講者が定員に満たずH27年
26	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-5a	手話通	人	44	38	40	40	40	28	28	70.0	C	正	・長期に渡る養成課程のため、
27	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-5b	要約筆	人	-	-	-	20	20	-	-	#VALUE!	-	正	・要約筆記者養成研修は平成28
28	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-5c	要約筆	人	54	28	40	40	0	22	22	55.0	D	正	・対象者が減ったことが要因と思
29	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-6	盲ろう者向	人	13	20	16	16	16	17	17	106.3	A	正	・H27年度実績が目標値を上回
30	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-7	手話通訳	件	396	452	375	375	375	495	495	132.0	A	正	・H27年度実績が目標値を上回
31	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-7a	手話通	件	271	312	236	236	236	319	319	135.2	A	正	・H27年度実績が目標値を上回
32	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-7b	要約筆	件	125	140	139	139	139	176	176	126.6	A	正	・H27年度実績が目標値を上回
33	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-8	盲ろう者向	件	1062	1237	1066	1066	1066	1416	1416	132.8	A	正	・H27年度実績が目標値を上回
34	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-9-(1)	点訳・朗読	人	46	38	46	46	46	47	47	102.2	A	正	・点訳奉仕員24名、音訳奉仕員
35	3-(4)	3 障害の	(4)手話通	障害福祉	3-9-(2)	点訳・朗読	回	2	2	2	2	2	2	2	100.0	A	正	・点訳、音訳それぞれ1回の研修
36	4-(1)	4 障害の	(1)障害の	障害福祉	4-1	児童発達	箇所	28	30	33	35	37	34	34	103.0	A	正	・平成27年度に4事業所の新規
37	4-(1)	4 障害の	(1)障害の	障害福祉	4-2	児童発達	箇所	121	153	161	179	198	232	232	144.1	A	正	・平成27年度に79事業所の新規
38	4-(1)	4 障害の	(1)障害の	障害福祉	4-3	放課後等	箇所	199	282	305	338	378	387	387	126.9	A	正	・平成27年度に105事業所の新
39	4-(1)	4 障害の	(1)障害の	障害福祉	4-4	ライフサポ	市町村	29	30	34	44	54	35	35	102.9	A	正	・平成27年度に1町がライフサポ
40	4-(2)	4 障害の	(2)障害の	障害福祉	4-5	短期入所	箇所	78	79	82	84	86	84	84	102.4	A	正	・平成27年度に5事業所の新規
41	4-(2)	4 障害の	(2)障害の	障害福祉	4-6	居宅介護	箇所	662	700	762	812	862	737	737	96.7	B	正	・概ね順調に増加しているが、目
42	4-(3)	4 障害の	(3)地域に	障害福祉	4-7-(1)	障害児等	箇所	77	65	65	65	65	55	55	84.6	B	正	・事業所への委託条件を厳しく設
43	4-(3)	4 障害の	(3)地域に	障害福祉	4-7-(2)	障害児等	件	29806	28212	31500	32000	32500	26711	26711	84.8	B	正	・事業所への委託に際し一定の
44	4-(3)	4 障害の	(3)地域に	障害福祉	4-8	療育支援	人	6	6	増加に努	増加に努	増加に努	6	6	#VALUE!	A	正	・療育支援コーディネーターが未
45	4-(4)	4 障害の	(4)障害の	(教)特別	4-9	小・中学校	%	62.7	64.8	72	76	80	67.2	67.2	93.3	B	正	・目標と実績の比較が4. 8%で
46	4-(4)	4 障害の	(4)障害の	(教)特別	4-10	特別支援	%	76.4	81.1	85	90	90	84.5	84.5	99.4	B	正	・総合教育センターとの連携を通
47	4-(5)	4 障害の	(5)障害の	障害福祉	4-11	福祉型障	人	288	288	288	288	288	288	288	100.0	A	正	・福祉型障害児入所施設につい
48	4-(5)	4 障害の	(5)障害の	障害福祉	4-12	医療型障	人	492	525	562	562	562	567	567	100.9	A	正	・平成27年度に1事業所の新規
49	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-1	計画相談	人	555	812	950	975	1000	893	893	94.0	B	正	・目標には届かなかったが概ね
50	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-2	特定相談	市町村	43	46	設定なし	設定なし	54	46	46	#VALUE!	-	正	・引き続き市町村への周知に努
51	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-3	一般相談	市町村	36	37	設定なし	設定なし	54	36	36	#VALUE!	-	正	・引き続き市町村への周知に努
52	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-4-(1)	千葉県相	人	32	33	32	32	32	32	32	100.0	A	正	・目標の配置数を確保した。
53	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-4-(2)	千葉県相	件	18	8	30	30	30	6	6	20.0	E	正	・目標を大幅に下回ったことから
54	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-5	基幹相談	市町村	14	15	設定なし	設定なし	44	16	16	#VALUE!	-	正	・引き続き市町村への周知に努
55	5-(1)	5 障害の	(1)地域に	障害福祉	5-6	発達障害	件	2752	2594	設定なし	設定なし	3500	6525	6525	#VALUE!	-	正	・前年度より相談支援件数が増
56	5-(2)	5 障害の	(2)地域に	障害福祉	5-7	計画相談	人	555	812	950	975	1000	893	893	94.0	B	正	・目標には届かなかったが概ね
57	5-(2)	5 障害の	(2)地域に	障害福祉	5-8	相談支援	人	629	567	600	600	600	516	516	86.0	B	正	・概ね受講者数を確保することが
58	5-(2)	5 障害の	(2)地域に	障害福祉	5-9-(1)	相談支援	人	767	390	720	720	720	298	298	41.4	D	正	・事業予算の削減に伴い目標の

59	5-(2)	5	障害の	(2)地域の	障害福祉	5-9-(2)	相談支援回	9	8	9	9	9	6	6	66.7	C	C	正	・事業予算の削減に伴い目標の
60	5-(3)	5	障害の	(3)障害の	障害福祉	5-10	医療的ケア人	なし	86	80	80	80	67	67	83.8	B	B	正	・概ね受講者数を確保することが
61	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	障害福祉	6-1	福祉施設人	570	701	820	940	1060	832	832	101.5	A	A	正	・調査の結果、対前年度比で19
62	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	障害福祉	6-2	就労移行人	2397	2358	3000	3400	3840	3098	3098	103.3	A	A	正	・事業所数が17増加したことか
63	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	障害福祉	6-3	就労移行%	29	29	35	40	50	40	40	114.3	A	A	正	・調査の結果、対前年度比で38
64	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	障害福祉	6-4	就労移行人	566	693	810	930	1050	828	828	102.2	A	A	正	・調査の結果、対前年度比で19
65	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-5	公共職業件	163	185	190	200	210	223	223	117.4	A	A	正	・公共職業安定所ごとにバラつき
66	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-6	障害者高%	79.3	85.4	80	80	80	88	88	110.0	A	A	正	・コースによるバラつきはみられ
67	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-7	委託訓練人	237	202	250	260	270	213	213	85.2	B	B	正	・PC技能習得コース等6コースで
68	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-8	障害者トラ人	93	125	120	130	140	152	152	126.7	A	A	正	・障害者トライアルの活用は目標
69	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-9	職場適応人	75	58	90	100	110	88	88	97.8	B	B	正	・今後もハローワークと障害者職
70	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-10	従業員50人	8194	8584	9730	10600	11550	8882	8882	91.3	B	B	正	・調査の結果、前年度未達成企
71	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	産業人材	6-11	従業員50人	482	606	790	1010	1293	741.5	741.5	93.9	B	B	正	・調査の結果、前年度未達成企
72	6-(1)	6	障害の	(1)就労支	千葉労働	6-12	障害者雇%	80	86.8	100	100	100	86.8	86.8	86.8	B	B	正	・11月末判明見込み 労働局発
73	6-(2)	6	障害の	(2)障害者	障害福祉	6-13	障害者就人	6059	6910	7060	7630	8240	8047	8047	114.0	A	A	正	・引き続き、就業支援や生活支
74	6-(2)	6	障害の	(2)障害者	障害福祉	6-14	障害者就箇所	15	16	16	16	16	16	16	100.0	A	A	正	・県内の障害保健福祉圏域ごと
75	6-(3)	6	障害の	(3)障害の	産業人材	6-15	企業支援人	8	16	16	16	16	16	16	100.0	A	A	正	・県内の障害保健福祉圏域ごと
76	6-(3)	6	障害の	(3)障害の	産業人材	6-16	フレンドリー件	11	8	15	15	15	11	11	73.3	C	C	正	・平成27年7月に6事業所、平成
77	6-(3)	6	障害の	(3)障害の	産業人材	6-17	従業員50人	8194	8584	9730	10600	11550	8882	8882	91.3	B	C	誤	・調査の結果、前年度未達成企
78	6-(3)	6	障害の	(3)障害の	産業人材	6-18	従業員50人	482	606	790	1010	1293	741.5	741.5	93.9	B	B	正	・調査の結果、前年度未達成企
79	6-(4)	6	障害の	(4)支援機	障害福祉	6-19	ネットワー圏域	15	16	16	16	16	16	16	100.0	A	B	誤	・県内の障害保健福祉圏域ごと
80	6-(5)	6	障害の	(5)福祉施	障害福祉	6-20	就労継続円	12596	13150	14000	15000	16000	13660	13660	97.6	B	B	正	・平成25年度から2年連続平均コ
81	6-(5)	6	障害の	(5)福祉施	障害福祉	6-21	県内官公円	107815	110921	110000	120000	130000	137841	137841	125.3	A	A	正	・平成26年度と比較して、発注件
82	6-(5)	6	障害の	(5)福祉施	障害福祉	6-22	官公需拡部署	32	95	50	80	100	37	37	74.0	C	C	正	・庁内において2回、市町村にお
83	7-(2)	7	障害の	(2)地域の	障害福祉	7-1-(1)	発達障害人	5977	7907	9000	9000	9000	8314	8314	92.4	B	B	正	・昨年度より受講者数が増え、目
84	7-(2)	7	障害の	(2)地域の	障害福祉	7-1-(2)	発達障害件	2752	2594	設定なし	設定なし	3500	6525	6525	#VALUE!	-	-	正	・前年度より相談支援件数が増
85	7-(2)	7	障害の	(2)地域の	障害福祉	7-2	高次脳支箇所	3	3	3	3	3	3	3	100.0	A	A	正	・県内3箇所(中央、北西部、南
86	7-(2)	7	障害の	(2)地域の	障害福祉	7-3	高次脳機件	9244	16762	9300	9300	9300	19797	19797	212.9	A	A	正	・上記3機関で、相談に対応。他
87	7-(3)	7	障害の	(3)通所支	障害福祉	7-4	短期入所人	134	138	137	140	143	144	144	105.1	A	A	正	・平成27年度に6事業所の新規増
88	7-(4)	7	障害の	(4)ひきこ	障害福祉	7-5	ひきこもり人	なし	33	50	75	100	40	40	80.0	B	B	正	・平成27年度は新規7名が受講。
89	7-(4)	7	障害の	(4)ひきこ	障害福祉	7-6	ひきこもり件	483	904	800	900	1000	1187	1187	148.4	A	A	正	・毎月100件前後の相談を受理。
90	7-(4)	7	障害の	(4)ひきこ	障害福祉	7-7	ライトハウ件	297	517	600	700	800	220	220	36.7	D	D	正	・件数減少の理由:次につなげる
91	7-(4)	7	障害の	(4)ひきこ	障害福祉	7-8	アウトリー件	15	19	50	100	200	10	10	20.0	E	E	正	・本人及び家族との日程調整が
92	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-1-(1)	重度訪問人	22	19	40	40	40	16	16	40.0	D	D	正	・重度訪問介護従業者養成研修
93	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-1-(2)	重度訪問回	7	7	4	4	4	6	6	150.0	A	A	正	・重度訪問介護従業者養成研修
94	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-2-(1)	同行援護人	967	880	500	500	500	432	432	86.4	B	B	正	・同行援護従業者養成研修一般
95	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-2-(2)	同行援護回	44	42	25	25	25	31	31	124.0	A	A	正	・同行援護従業者養成研修一般
96	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-3-(1)	強度行動障人	なし	77	240	240	240	337	337	140.4	A	A	正	・強度行動障害支援者養成研修
97	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-3-(2)	強度行動障回	なし	1	2	2	2	5	5	250.0	A	A	正	・強度行動障害支援者養成研修
98	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-4-(1)	ガイドヘル人	296	267	500	500	500	256	256	51.2	D	D	正	・移動介護従業者養成研修(視覚
99	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-4-(2)	ガイドヘル回	20	17	25	25	25	18	18	72.0	C	C	正	・移動介護従業者養成研修(視覚
100	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-5-(1)	サービス管人	664	660	550	550	550	659	659	119.8	A	A	正	・目標値を上回る養成数を確保
101	8-(1)	8	その他	(1)人材の	障害福祉	8-5-(2)	サービス管回	1	1	1	1	1	1	1	100.0	A	A	正	・目標の1回を実施した。
102	8-(1)	8	その他	(1)人材の	医療整備	8-6-(1)	医師及び人	1	4	増加を目標	増加を目標	増加を目標	13	13	#VALUE!	A	A	正	・平成27年度に医師修学資金の
103	8-(1)	8	その他	(1)人材の	医療整備	8-6-(2)	医師及び%	66.2	67.7	増加を目標	増加を目標	増加を目標	67.3	67.3	#VALUE!	B	B	正	・大学や3年課程の県内就業率
104	8-(1)	8	その他	(1)人材の	医療整備	8-6-(3)	医師及び%	12.4	12.8	低下を目標	低下を目標	低下を目標	11.9	11.9	#VALUE!	A	A	正	・「27年度」の11.9%は平成26年
105	8-(1)	8	その他	(1)人材の	健康福祉	8-7	福祉・介護件	139	150	200	200	200	134	134	67.0	C	C	正	・平成30年度から市町村事業に
106	8-(3)	8	その他	(3)保健と	障害福祉	8-8	ビーバー%	9.1	14.8	10	11	12	12.5	12.5	125.0	A	A	正	・障害者支援施設及び障害児入
107	8-(4)	8	その他	(4)スポー	障害福祉	8-9	障害者ス人	57	48	50	50	50	41	41	82.0	B	B	正	・公益財団法人日本障がい者ス
108	8-(5)	8	その他	(5)住まい	公園緑地	8-10-(1)	障害者駐箇所	11	12	13	13	14	13	13	100.0	A	A	正	・新規の駐車場整備に併せて、
109	8-(5)	8	その他	(5)住まい	公園緑地	8-10-(2)	障害者駐%	79	86	93	93	100	93	93	100.0	A	A	正	・駐車場のある14の県立公園に
110	8-(5)	8	その他	(5)住まい	公園緑地	8-11-(1)	多機能トイ箇所	10	10	11	11	12	10	10	90.9	B	C	誤	・今年度は、目標である1公園の
111	8-(5)	8	その他	(5)住まい	公園緑地	8-11-(2)	多機能トイ%	67	67	73	73	80	67	67	91.8	B	C	誤	・15の県立公園に対して10公園
112	8-(5)	8	その他	(5)住まい	交通計画	8-12	主要駅エ%	90.3	92.2	92	93	94	93.5	93.5	101.6	A	A	正	・2駅3基(2市)のエレベーターに
113	8-(5)	8	その他	(5)住まい	交通計画	8-13	乗合バス%	44.5	51.3	50.5	53.5	56.5	54.7	54.7	108.3	A	A	正	・ノンステップバス46台(8事業者
114	8-(5)	8	その他	(5)住まい	住宅課	8-14	県営住宅(戸	4220	4296	4401	4508	4611	4401	4401	100.0	A	A	正	・計画通り、バリアフリー化され
115	8-(6)	8	その他	(6)暮らし	防災政策	8-15	避難行動市町村	なし	14	28	42	54	28	28	100.0	A	A	正	・目標の28自治体が着手した。
116	8-(6)	8	その他	(6)暮らし	障害福祉	8-16	災害派遣回	なし	3	2	1	1	2	2	100.0	A	A	正	・6月、11月と2回体制整備検討
117	8-(6)	8	その他	(6)暮らし	健康福祉	8-17	日常生活人	728	884	880	960	1040	1059	1059	120.3	A	A	正	・平成27年度から全市町村社会

対前年度比で7%の増加となっている。
の減となっています。今後も、地域生活への移行が可能な方に対して支援を行っていく必要がある。
減っている。
検討中は8市(千葉市、船橋市、柏市を除く)である。
事業補助金の活用等を促し、実施を促進して参りたい。
福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。
予定である。
施している。
通所施設の指定が1件あり、目標以上の実施箇所数の維持を達成した。
減っている。
検討中は8市(千葉市、船橋市、柏市を除く)である。
調に進んでいるが、更生園利用者の移行は、移行を希望していない保護者も多いことから、引き続き情報提供に努めたい。
要。
ため、認定が出来なかった。
域毎の実施内容について等情報交換を行った。
病院がないため、今後も精神科救急医療圏域ごとの基幹病院の設置を目指す。
綱の中に身体合併症に対応できる施設を「協力病院」として規定し、今後は登録を行っていく。
いる。
いる。
は、目標に達することができず、引き続き課題となっているため、相談対応や広報活動における地域相談員との連携とその活用を図る。
度実績が目標値を大きく下回った。
最終課程までに至らず、最終課程の受講者が定員に満たないことが要因と思われるため、今後は講座数を増やす等により最終課程の受講者を増やすことを検討する。
年度からの実施となる。
われ、受講者が定員に満たずH27年度実績が目標値を大きく下回った。今後は要約筆記者養成研修で目標値を達成できるよう、補講等を実施し、当初の受講生がきちんと修了できるようにしていくこととしたい。
5事が出来た。今後も引き続き養成事業に取り組んでいきたい。
5事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
5事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
5事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
5事が出来た。今後も引き続き派遣事業に取り組んでいきたい。
23名で計47名の奉仕員を養成し、目標をわずかに上回る結果となった。
を実施し、目標を達成した。なお、研修の時間数は、点訳が48時間、音訳が40時間であった。
指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
規指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
ートファイルを実施し、目標以上の事業者数を達成した。
指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。
標の事業所数には到達しなかった。
と定したため、目標の事業所数に到達しなかった。
利用条件を設けたため、目標相談件数に到達しなかった。
配置圏域の市町村から設置の要望がなかったため、現状どおり。
あり、未達成となった。個別の教育支援計画の作成について、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じるために必要との認識は、各学校・教員に理解されてきているところであるが、児童生徒の実態把握及び医療・
して、研修の充実に努めてきた成果により、3. 4%の向上を図ることができた。
ては、当面、現目標値の維持が予想される。
指定申請があり、目標以上の定員数を達成した。
順調に増加している。
める。
める。
、市町村会議等で周知することにより利用促進を図る。
める。
加した。今後も地域の相談支援機関の対応可能数の増加を目指す。※27年度は地域相談支援機関での対応件数を含む。
順調に増加している。
できた。今後、研修の周知方法等を検討し、さらに受講者数の確保に努める。
受講者数を達成することができなかったため、今後の研修の実施方法等を検討する。

開催回数を達成することができなかったため、今後の研修の実施方法を検討する。 できた。今後、研修の周知方法等を検討し、さらに受講者数の確保に努める。
%増加し、計画値(目標)を達成する。
ら、利用者においても、対前年度比で31%増加し、計画値(目標)を達成する。 %増加し、計画値(目標)を達成する。 %増加し、計画値(目標)を達成する。
きがみられたが、福祉施設利用者の支援件数は目標に対し17.4%増の実績となった。 たが、全体としては目標を上回った。 213人が受講した 業に対し26.7%増の実績となった。 業センターとの連携強化が必要である。
業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で3.5%増加したが、計画値には至らなかった。 業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で22.4%増加したが、計画値には至らなかった。
表
援を必要とする支援対象者に対して、就労面及び生活面の一体的な支援等を行う。 に設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)において、各1名以上ずつ生活支援員を配置した。 に設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)において、各1名ずつ企業支援員を配置した。
28年2月に5事業所、計11事業所を認定した。 業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で3.5%増加したが、計画値には至らなかった。 業に対しハローワークでの指導を行った結果、対前年比で22.4%増加したが、計画値には至らなかった。 に設置された障害者就業・生活支援センター(16箇所)が地域意見交換会等の取組を実施した。 賃が向上し、対前年比で510円増となったが、目標額には至らなかった。 件数は131件増、発注金額は19,602,060円増。発注金額増額分のうち約33%を松戸市が占めている。 いて1回周知したが、目標値に至らなかった。 目標値に近づいた。今後も受講者増を目指す。
加した。今後も地域の相談支援機関の対応可能数の増加を目指す。※27年度は地域相談支援機関での対応件数を含む。 P)に支援拠点機関を設置。 こ、研修や啓発等の活動もしており、件数が増加している。 指定申請があり、目標以上の事業者数を達成した。 前年度までと併せて40名となった。市町村の協力を得ながら登録者を増やすことが今後の課題。 本人からが80%。ひきこもり本人は男性が80%。20代が55%。 のための実質的な相談対応を主とし、傾聴のみの相談を整理したため。結果、新規相談は増加した。 うまくいかずキャンセルが重なり、件数が伸びなかった。 基礎・追加課程:2名修了・重度訪問介護従業者養成研修統合課程:14名修了 基礎・追加課程:1回開催・重度訪問介護従業者養成研修統合課程:5回開催 課程:298人修了・同行援護従業者養成研修応用課程:134名修了 課程:20回開催・同行援護従業者養成研修応用課程:11回開催 (基礎研修):214名修了・強度行動障害支援者養成研修(実践研修):123名修了 (基礎研修):3回開催・強度行動障害支援者養成研修(実践研修):2回開催 覧):94名修了・移動介護従業者養成研修(全身性):43名修了・移動介護従業者養成研修(知的):119名修了 覧):6回開催・移動介護従業者養成研修(全身性):4回開催・移動介護従業者養成研修(知的):8回開催 した。
貸付を受けた医師数が9人増加し、合計13人となった。 は増加したが、2年課程や准看護師が減少した。 度の離職率。同様に26年度、25年度もそれぞれ平成25年度、平成24年度の率。(日本看護協会発表) 移行する予定であり、数値目標を見直す必要がある。 所施設においては、歯科受診が特に困難であるので、引き続き実施率の向上に努める。 ポーツ協会公認の初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(4日間)を実施し、41名の指導者を養成した。 章害者駐車場を整備しており、平成27年度については1公園整備した。(公園数は整備済み公園数) に対して13公園で整備されている。 多機能トイレを含めたトイレ建築工事を実施したが、平成28年4月1日から供用開始することとなったため、1公園分は平成28年度に成果を含めたい。 で整備されている。 対し補助を行った。 リフト付きバス1台(1事業者)に対し補助を行った。 と県営住宅を整備した。 (作成済7自治体含む) 会議をした。 福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。

[illegible]

数値目標番号	主要施策	評価	評価算定
--------	------	----	------

1-1	1	-	-
1-2	1	D	D
1-3	1	-	-
1-4	1	-	-
1-5	1	-	-
1-6	1	A	A
1-7	1	-	-
1-8	1	A	A
1-9	1	A	A
1-10	1	-	-
1-11	1	-	-
1-12	1	-	-
2-1	2	B	B
2-2	2	B	B
2-3	2	A	A
2-4	2	D	D
2-5	2	E	E
2-6	2	A	A
2-7	2	B	B
2-8	2	A	A
3-1	3	A	A
3-2	3	A	A
3-3	3	A	A
3-4	3	D	D
3-5	3	C	C
3-5a	3	C	
3-5b	3	-	
3-5c	3	D	
3-6	3	A	A
3-7	3	A	A
3-7a	3	A	
3-7b	3	A	
3-8	3	A	A
3-9-(1)	3	A	A
3-9-(2)	3	A	
4-1	4	A	A
4-2	4	A	A
4-3	4	A	A
4-4	4	A	A
4-5	4	A	A
4-6	4	B	B
4-7-(1)	4	B	B
4-7-(2)	4	B	
4-8	4	A	A
4-9	4	B	B
4-10	4	B	B
4-11	4	A	A
4-12	4	A	A
5-1	5	B	B
5-2	5	-	-
5-3	5	-	-
5-4-(1)	5	A	A
5-4-(2)	5	E	E
5-5	5	-	-
5-6	5	-	-
5-7	5	B	B
5-8	5	B	B
5-9-(1)	5	D	D

ピボットテーブル

データの個数 / 評価算定 行ラベル	列ラベル -	A	B	C
1		8	3	
2			3	3
3			7	1
4			8	4
5		4	1	4
6			12	8
7			4	2
8			11	3
総計		12	49	24

5-9-(2)	5 C	C	
5-10	5 B	B	
6-1	6 A	A	
6-2	6 A	A	
6-3	6 A	A	
6-4	6 A	A	
6-5	6 A	A	
6-6	6 A	A	
6-7	6 B	B	
6-8	6 A	A	
6-9	6 B	B	
6-10	6 B	B	
6-11	6 B	B	
6-12	6 B	B	
6-13	6 A	A	
6-14	6 A	A	
6-15	6 A	A	
6-16	6 C	C	
6-17	6 B	B	
6-18	6 B	B	
6-19	6 A	A	
6-20	6 B	B	
6-21	6 A	A	
6-22	6 C	C	
7-1-(1)	7 B	B	
7-1-(2)	7 -		
7-2	7 A	A	
7-3	7 A	A	
7-4	7 A	A	
7-5	7 B	B	
7-6	7 A	A	
7-7	7 D	D	
7-8	7 E	E	
8-1-(1)	8 D	D	
8-1-(2)	8 A		
8-2-(1)	8 B	B	
8-2-(2)	8 A		
8-3-(1)	8 A	A	
8-3-(2)	8 A		
8-4-(1)	8 D	D	
8-4-(2)	8 C		
8-5-(1)	8 A	A	
8-5-(2)	8 A		
8-6-(1)	8 A	A	
8-6-(2)	8 B		
8-6-(3)	8 A		
8-7	8 C	C	
8-8	8 A	A	
8-9	8 B	B	
8-10-(1)	8 A	A	
8-10-(2)	8 A		
8-11-(1)	8 B	B	
8-11-(2)	8 B		
8-12	8 A	A	
8-13	8 A	A	2016/11/22入力
8-14	8 A	A	
8-15	8 A	A	
8-16	8 A	A	
8-17	8 A	A	

D E (空白) 総計		
1		12
1	1	8
1		9
		12
1	1	12
		22
1	1	8
2		17
7	3	100